

農政学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 田中裕人・五條満義

◆学習・教育目標

本演習では、農林業や環境に関して、経済学による考え方を学ぶ。農林業は一般に外部効果を発揮する場が多い。そのため、特に農林業や環境を対象とした環境経済・環境政策について学ぶ。

本演習では、環境経済学や農業経済学に関して広く学ぶことを目的とするが、学部レベルの知識を必要とする。そのため、受講希望者は、これらの基礎を理解していることが望ましい。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

環境経済学 農業経済学 多面的機能 外部効果
地球温暖化 公害 バイオマス 環境税

◆授業の進行等について

| | テーマ | 内容 | 授業のねらいまたは準備しておく事項 |
|----|-------------|---------------------|-------------------|
| 1 | ガイダンス | ガイダンスを実施する。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 2 | 経済発展と環境問題 | これまでの環境問題に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 3 | 地球温暖化 | 地球温暖化に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 4 | 外部性と市場の失敗 | 外部性と市場の失敗、公害に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 5 | 里山と漁業資源 | 里山などの共有資源に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 6 | 公共財 | 公共財に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 7 | 直接規制と市場 | 直接規制と市場メカニズムに関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 8 | 環境税と補助金 | 環境税と補助金に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 9 | 排出量取引 | 排出量取引と交渉に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 10 | 農業・農村の多面的機能 | 農業・農村の多面的機能に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 11 | 新エネルギー | 新エネルギー、バイオマスに関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 12 | 生物多様性 | 生物多様性に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 13 | 観光と環境 | 観光と環境に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 14 | 食と環境 | 食と環境に関する説明。 | 理解できるまで予習・復習を行う。 |
| 15 | 試験 | 試験を実施する。 | |

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

環境資源経済学入門/小林弘明・廣政幸生・岩本博幸/泉文堂（2007）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

/ / ()

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

試験で全て評価する。ただし、理由なく欠席をするたびに減点する。

◆その他受講上の注意事項

学部レベルの環境経済学・農業経済学の知識を前提として授業を進めます。